

第 27 回災害対策本部員会議での知事の主な発言

1. 会議冒頭の発言

- 本日、坂本農林水産大臣に、ヘリでの現地視察や、県庁において要望を受けていただき、感謝申し上げます。

昨日、小森副本部長と西田昭二衆議院議員、地元県議の皆さんとともに、穴水町と能登町の被災地を視察した。

現地で避難生活を送る被災者の皆さんと直接お話をし、今、被災地での生活で最も必要とされているのは、トイレや入浴、洗濯等の生活に要する「水」と、仮設住宅をはじめとする「住まい」の確保であった。

水道については、先般、厚生労働省から、主要な水道施設の地区ごとの復旧見通しが、県を通じて市町に示されたところであり、市町において検証がなされてきた。

本日、市町による検証結果を、国と県でも共有した。被災市町の首長さんには、地区ごとの復旧見通しを被災者の皆さんに丁寧に説明いただくとともに、復旧までに長期間を要する地区で生活する被災者の 2 次避難等に繋げてください。

「住まい」の確保に向けては、応急仮設住宅を奥能登 2 市 2 町と七尾市で、本日現在、338 戸着工しているが、現時点で数千戸に及ぶ仮設住宅の建設ニーズがあり、調整・準備を加速してください。その際、こうした工事に従事する業者の皆さんの支援にも配慮してください。

- 孤立集落については、1 月 8 日に最大 3,345 人いた

が、本日 14 時現在で、自らの意思で残る 14 人のみとなった。改めて、自衛隊をはじめ関係機関の皆さんに感謝申し上げます。

孤立集落の解消に目途が立った数字ではあるが、引き続き、要支援集落であることに変わりはない。また、集落を出て金沢市以南に避難されている被災者の皆さんは、無人状態となった集落の治安を心配されており、警察においては、被災者の皆さんが遠隔地で安心して避難生活を送ることができるよう、パトロール活動をより一層強化していただきたい。

- 金沢や加賀等への避難者が一時的に被災地に戻る交通手段について、七尾市については、明日から JR 七尾線の「羽咋・七尾間」の運行が再開され、志賀町についても、明日から羽咋駅前と高浜を結ぶ路線バスが再開される。徐々に能登への公共交通機関の運行が回復しつつある。

一方、1. 5 次や 2 次避難所への避難者が多い奥能登 2 市 2 町への公共交通機関の運行再開は、現時点で見通せていない。そこでまず、金沢駅と奥能登 2 市 2 町を結ぶ無料バスを、早ければ今週中にも運行させるべく、バス事業者等と鋭意調整を進めている。

- 今後、被災者に寄り添ったきめ細かな生活支援を行っていくためにも、2 次避難を含めた避難所生活を送る被災者はもとより、先般の内閣府通知にある通り、在宅や車中泊、ビニールハウスや納屋泊などの避難所以外で避難生活を送る自主避難者の状況を把握することが必要不可欠である。

この方々の命を守る必要があり、本来これらの方々の状況を把握するのは市町の業務であるものの、県としてもそ

うした業務をサポートすることが必要と考えており、被災者の状況の把握を支援するため、県職員を被災6市町に派遣することとした。

- 避難所以外で避難生活を送っている被災者の皆さんについて、罹災証明書の案内など、今後の行政からの支援に繋げていくため、一昨日、金曜日に、避難先や氏名、電話番号等の情報を登録する窓口を開設した。

本日12時時点で、約1,500人もの登録をいただいている。速やかにこの情報を市町に提供したい。

2. 会議最後の発言

- 被災地の被災者の皆さんが、今、最も求めているのは「水」と「住まい」である。

一日も早い「水」の確保に向けて、関係機関が連携して、水道の復旧にあたっていただくとともに、さらなる仮設住宅の建設に向けた調整・準備を急いでください。仮設住宅については、様々な状況に応じたマッチングが重要である。そのためにも、1次避難所、自宅避難など、様々なところに避難している方々の、介護、仕事、学校などのデータを県として集約し、支援の際に活用していかなければならない。

- 被災者に寄り添ったきめ細かな生活支援を行っていかなければならない。

「復興生活再建支援チーム」編成の詰めの作業を急ぎ、国・市町・関係団体と連携し、しっかり対応してください。

- 政府においては、今月中に、生活・なりわい再建のための支援パッケージを取りまとめる予定としている。これに地元のニーズなどをできるだけ反映いただけるよう、関係機関との調整を進めてください。

支援パッケージは1,000億円という枠は聞いている。我々としては、今の段階から、創造的復興という理念に基づいて、農林水産業、観光業、伝統工芸など能登らしい基盤について大きな絵を描きつつ、第1段階として、当面必要な支援をパッケージに詰め込んでいく必要がある。今後、場合によっては、第2次、第3次、第4次となっていく可能性もある。